

ぜん ぎょう じ
善巧寺報

12 月号



月刊 ● 善巧寺報

〒344-0032 埼玉県春日部市備後東4丁目1番17号
TEL 048(734)7660
榎本明覚



柳堂（太子堂）

しんらん散歩

～ 妙源寺 ～

▼二〇一八年十二月一日▲

定例法座

毎月 十一日

◎十二月十一日(火)午後二時

～四時

於 善巧寺 本堂

安心と報謝

あんじん ほうしや

十一月二十三、二十四の両日、京都のご本山において恒例の門信徒総追悼法要(秋の法要)が勤修され、ご門主さまより四ヶ条にまとめられた「私たちのちかい」について、「ご親教(ご法話)」がございました。

私たちのちかい

一、自分の殻に閉じこもることなく穏やかな顔と優しい言葉を大切にします
微笑み語りかける仏さまのように
一、むさぼり、いかり、おろかさになれずしなやかな心と振る舞いを心がけます
心安らかな仏さまのように
一、自分だけを大事にすることなく人と喜びや悲しみを分かち合います
慈悲に満ちみちた仏さまのように
一、生かされていることに気づき日々

に精一杯つとめます 人びとの救いに
尽くす仏さまのように

さて、浄土真宗の教えは、一寸先いかようになるかわからないこの私を、決して捨てないという南無阿弥陀仏のおいわれを聞く事ひとつが肝要です。いかなる時、いかなる場所、私がいかなる心であつても、私には常に働き底を支えていらつしやる仏さまがいらつしやる、そうした状態に常にある、と聞くわけですから、これを安心(安心と書いて「あんじん」と読みます)と言うのです。

この安心の上には私が行う事は、報恩謝徳となります。口に称えるお念仏も、仏さまのように自他共に穏やかでありたいと思ひ行動する事も、恩に報い徳に感謝する行為と言えるのです。

ご法話終了後、今年一年の報恩のため、お煤払いを行います。お手伝いいただける方は、身軽な服装でお越しください。



みほとけ会月例会

＊ポジティブコキョウ

PROJECT＊

◎一月六日(日)午後一時半～

二時半

於 Café Luana 二階

(東急世田谷線宮の坂駅下車徒歩1分)

新年会費 一〇〇〇円

『新年会』

明けまして最初のみほとけ会は、仏教にちなんだカルタ取り大会を開催いたします。豪華?商品もありますよ。ふるってご参加下さい。カルタとは元ポルトガル語の Carta、カード(ゲーム)の事でした。江戸後期には「いろはがらた」が流行し、江戸、上方、三河、また地方独特のカルタが作られていたそうです。町人視点で皮肉が多い「いろはがるた」ですが、仏教関連の言葉もチラホラ。当時の町人の風俗や仏教の捉え方なども学べます。

※例会は毎月第一日曜日です

第36回 成道会布教大会

- 期日:12月8日(土) 9:00 受付 9:30 開会
- 会場:築地本願寺 本堂
- 参加費:1,000 円(昼食付)
- 交通:東京メトロ日比谷線 築地駅下車すぐ

《 日 程 》

9:30	開会式		
9:45	阿弥陀様の救い	毛利	祥真 師
10:15	お念仏のかたじけなさ	田澤	衛真 師
	～ 休憩 ～		
11:00	まず急ぐべきこと	藤尾	流恵 師
11:30	無常世界に生かされて	青木	長生 師
	～ 昼食 ～		
13:00	仏教讃歌で味わうほとけさまのお心	南莊	乗撰 師
13:45	如来所以興出世 唯説弥陀本願海	川茂	唯順 師
	～ 休憩 ～		
14:30	我独り尊し	小笠原	博慧 師
15:00	お釈迦様の本意	熊原	博文 師
15:30	閉会式		

お釈迦様がお悟りを開かれた12月8日、成道会(じょうどうえ)を記念して行われる布教大会です。参加ご希望の方は、善巧寺(048-734-7660)までご連絡ください。「ただ仏法は聴聞にきわまることなり」『蓮如上人御一代記聞書』

善巧寺 除夜会

◎期日 大晦日 午後四時～五時半
◎内容

勤行 『般舟讃(はんじゅさん)』
一口法話

リサイクルキャンドル点灯

善巧寺としては本年最後のご恩
報謝です。暖かいお飲み物等をご
用意してお待ちいたしております。

善巧寺 元旦会

◎期日 三が日 毎朝八時～

◎内容

勤行 『正信偈』『現世利益和讃』
一口法話

御文章拝読

◎本年もご門徒の皆様方には、大変お
世話になりました。来年もどうぞよろ
しくお願い申し上げます。